

平成22年度

帯広市



文化賞

文化奨励賞

平成22年11月3日
帯広市教育委員会

帯広市文化賞受賞者



いわ の よう いち
岩 野 洋 一

《受賞理由》

氏は、経済界から帯広市の様々な文化活動に対する支援を積極的に行ってこられました。

美術界では安井賞展、小磯良平大賞展などの展覧会を先頭に立って成功に導いてこられ、道立帯広美術館振興会会長としても、絵画の寄贈や、美術館入場者の増加を図るワークショップ企画などを行い、帯広市の美術の振興発展に貢献されております。

平成13年度からは、帯広邦楽邦舞協会会長として、日本の伝統芸能の振興発展にも多大な尽力をされております。

また、市民手作り公演においては、経済界を挙げての支援を続けてこられ、中でも平成9年に開催された帯広市民オペラの第1回公演には、帯広市民オペラの会会長として携われ、その後の帯広市民オペラの道筋をつけられました。

このような氏の永年にわたる活動は、地域文化の向上発展に大きく寄与するものであることから、帯広市文化賞を贈り顕彰するものであります。

《略 歴》

- | | |
|-------|--------------------------|
| 昭和38年 | (株) エヌシー帯広取締役 |
| 平成10年 | 帯広商工会議所会頭 |
| 平成13年 | 帯広邦楽邦舞協会会長 |
| 平成14年 | 市政功労者表彰産業功労賞受賞 |
| 平成18年 | 第3回帯広市民オペラ「椿姫」公演 実行委員会顧問 |

帯広市文化奨励賞受賞者



かね ことら あきら
金 子 章

《受賞理由》

氏は、昭和46年に全道規模の公募展である全道展に初入選されて以降、たゆまぬ制作活動を続けられております。

昭和56年に平原社美術協会会員、昭和62年に全道展会員、平成3年には現代工芸美術家協会会員となられ、帯広・十勝で作品を制作し続けられており、地域の工芸美術の振興発展に大きな貢献をされております。

日本現代工芸美術展や日展などの全国的な公募展で入選するなど、活発な制作活動を続けられるかたわら、平成12年からは平原社美術協会副会長として、会を盛り立てられ、工芸部門においては中心的な役割を担われております。

このような氏の永年にわたる活動は、地域文化の向上発展に寄与するとともに、今後の活動も大きく期待できるものであることから、帯広市文化奨励賞を贈り顕彰するものであります。

《略 歴》

昭和46年	全道展初入選
昭和56年	平原社美術協会会員
昭和62年	全道展会員
平成 2年	第22回日展第4科工芸美術初入選
平成 3年	日本現代工芸美術展現代工芸賞受賞 現代工芸美術家協会会員
平成12年	帯広市民劇場賞受賞 平原社美術協会副会長
平成20年	第40回日展入選（4回目の入選）
平成21年	現代工芸おびひろ代表